請第４号

写

子どもの黙食緩和を求める請願

請願者　柏崎市茨目２丁目１９－４
筈井　真理佳　㊞

紹介議員　飯塚　寿之　㊞

令和４年１１月２４日
柏崎市議会議長　真貝　維義　様

子どもの黙食緩和を求める請願

現在、新型コロナウイルス感染症対策として、学校での黙食措置がとられて３年目を迎えます。現在は、全員が等間隔で前を向き、一言も話すことが許されない中給食を食べるという「孤食」となっています。食べている間、担任の先生からは会話をしないよう指導され、「これ、おいしいね。」と発しただけでも、厳しくとがめられた事例もあります。静寂の中での給食では、自分のそしゃく音が気になって食べられない子もいると聞きます。本来、給食の時間は子どもたちにとっても楽しい時間、「食育」という大切な教育の時間です。

医師、特に小児科医の中には、この黙食を危惧している声が多く見られ、実際に、愛知県教育委員会では黙食を緩和するようガイドラインが改訂され、大阪や東京でも検討されています。そもそも文部科学省のガイドラインでは『「大声での」会話を控えるなどの対応が必要』とあり、一言も会話を許さないという指示ではありません。

このような理由から柏崎の宝である子どもたちの健全な成長を守るため、黙食について以下の請願を致します。

記

給食時間において、机の配置を工夫する等の飛沫対策をしつつも、食育の観点から、黙食指導の緩和を求めます。

以上